

白浜レスキューネットワーク通信3月号  
〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町 3137-8  
TEL&FAX0739-43-8981  
<http://www.aikis.or.jp/~fujiyabu/nrsv1.htm>  
e-mail yabiumi@yahoo.co.jp

理事長 藤藪庸一

郵便振替 00920-6-85589 口座名：白浜レスキューネットワーク  
紀陽銀行白浜支店普通預金 589389 口座名：NPO特定非営利活動法人  
白浜レスキューネットワーク

### 自殺者救済活動

3月1日～3月31日

電話件数 67件

保護件数 3件(男性2人、女性1人)

○6日夜、50代の女性と犬2匹を保護した。40歳で三度目の結婚をし、生活保護を受けながら生活していたが、49歳で離婚。離婚後も引き続き生活保護で、犬2匹とアパートで生活していたが、そこでトラブルを起こし住む場所を追われてしまった。犬も一緒に保護し、共同生活に加わることになった。

○10日、行方が分からなくなっていた男性が、もう一度やり直したいと帰ってきた。共同生活に加わり、もう一度頑張ることになった。

○25日、三段壁から電話があり、男性を保護した。話をする中で落ち着き、その日のうちに田辺市の自宅近くまで送り届けた。

### 生活自立支援活動

3月1日～3月31日

滞在者数 12人(男性10人、女性2人)

自立1人(男性1人)

自主退所1人(女性1人)

○17日、まちなかキッチンの皿洗いをしていた30代の女性が自主退所した。昨年の17日に保護してから丸一年だった。朝のミーティングの最中に黙って出て行こうとしているのを発見、少しだけ話ができたが、本人の意思が固く、止めることはできなかった。ただ、置手紙には、共同生活者一人一人に対するコメントと感謝がつづられていた。先月面接に行ったが不採用だった。フルタイムで定職がないことが一番のストレスだと話をしていたこともあり、就職活動をしやすい場所に前々から移りたい意志も

あった。黙って出て行こうとしたことは残念だったが、落ち着く先を見つけ頑張してほしいと思う。

○22日、今月帰って来た男性が、就職活動をし、飲食店に正社員として就職が決まった。バイクで通勤する。

○24日、今月保護された女性が夜まで帰ってこず心配していると、公衆電話から、「落ち着く先が見つかったので帰りません。ありがとうございます」と電話があった。その落ち着く先が安心できる所かどうか定かではないが、本人の意思が固く様子を見守っている。

○29日、シェアハウスで生活していた男性が、勤務先に近いアパートに移った。これからも引き続き農業の収穫作業など関わる。

○耳の手術を予定している男性が今月後半から体調が悪くなり、起きてくるのが難しくなった。和歌山市内の病院に通院し、診察を受けた。来月手術を受ける。

○うつ病と診断されている50代の女性が、花の手入れや農作業に加わるようになった。少しずつだが丁寧な仕事をしている。



## 自殺予防活動

### ・まちなかキッチン

弁当部門は、春休み期間中のため、学校の先生方やホテルの従業員用の注文が増え、今までで一番多くの弁当を販売することが出来た。大学生の研修等の影響もあり、朝食用の弁当の製造販売も行った。

惣菜部門は、店舗も移動販売も売上が伸び、目標を達成することができた。移動販売先を一つ増やした。惣菜を何種類か詰め合わせにしたお弁当の製造、販売も少しずつ定着してきた。



今後より多くの弁当を製造、販売していくためにも、また衛生に厨房を保っていくためにも新たなシステムを作っていく必要が出て来た。まちなか店舗近くに借りているシェアハウスの一階を皿洗い兼仕込みの作業場として活用できないかと動き始めた。

### ・放課後クラブ「コペルくん」

6年生が2名卒業した。1人は、1年生の時からずっとコペルくんに通って来ていた女の子だ。通常の放課後クラブコペルくんだけでなく、親御さんの仕事が夜勤の時にはお泊まりをしていた。5年生からは、休日だけお母さんのもとに帰るとい生活をしていた。いよいよ中学生になるにあたって、今月から親元に帰り生活を始めた。ここで学んだことを生かして中学校生活を満喫してほしい。

もう一人は、5年生の後半から理事長宅に里子として来た女の子だ。不登校であったとは微塵も感じさせないほど学校が大好きで、友達が大好きな子になった。どんな中学生になっていくかと楽しみにしている。

今月は小学校で遅めのインフルエンザの大流行が起こり、コペルくんに来ている子たちも何人か発症した。学級閉鎖や学年閉鎖もあり、

全体としては寂しい一ヶ月だった。一年のまとめにあたり、出していない宿題ややっていないドリルの残りなど、遅くまで学校で勉強してから来る子たちもいた。今のうちに基礎学力や逃げない力を身につけさせたいと思う。



### ・フードバンク

白浜町内に住む2名の男性に弁当の無料配布を行った。生活保護を受けているが、支給日の前にお金がなくなってしまったと福祉から相談を受けた。ただ弁当を渡すだけではなく、さまざまな相談も受け、アドバイスしつつ関わっている。

25日、自転車で日本一周を目指す青年がまちなかキッチンを訪ねてきた。一晩泊まり、翌日出発した。「食」をテーマに旅をしており、全国のフードバンクを回っている。

### ・相談電話

3日、10日、17日、24日に行なった。今月も1人の相談員が休まず電話相談にあたった。

### ・実習受け入れ

東京看取り人プロジェクトから実習生を2名受け入れた。4泊5日の実習を行った。共同生活者たちと一緒に作業をする中で関わりも持った。

### ・人事

以前から5回ほどボランティアとして来ていた安達世羽(あだちよはね)くんが、東京の大学をこの春に卒業し、スタッフとして働き始めた。